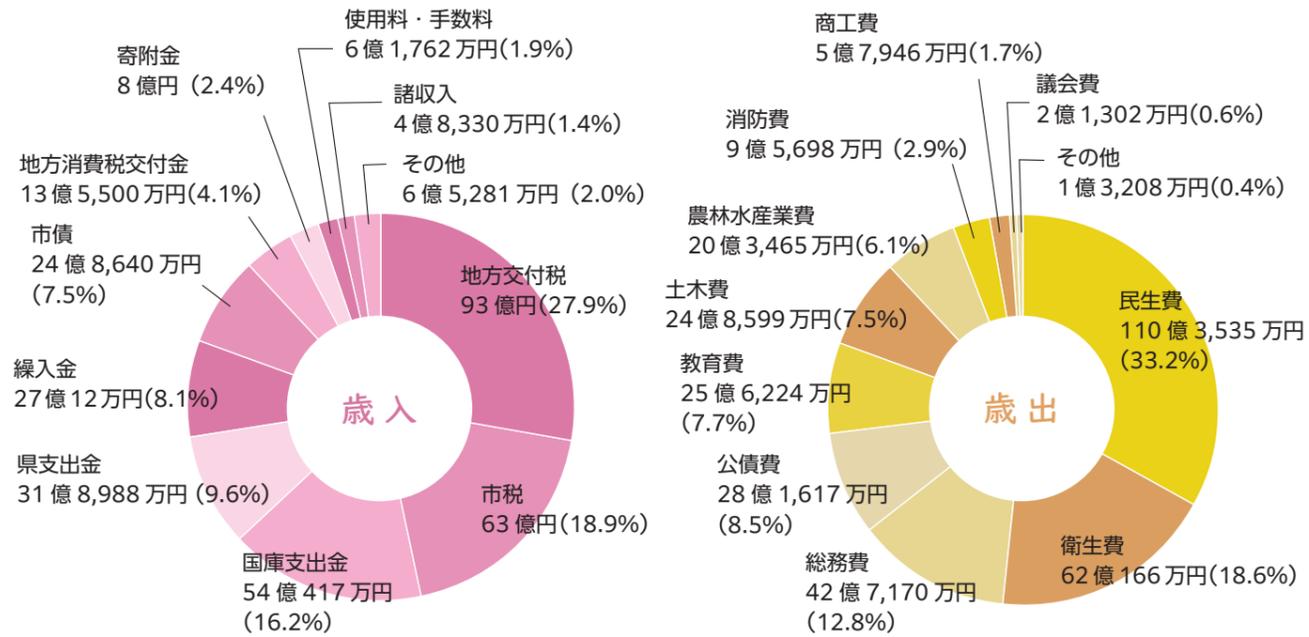


# 予算規模

一般会計 令和7年度予算額 332億8,930万円



特別会計 令和7年度予算額 139億180万円

会計区分	金額	(前年度比)
国民健康保険	64億 3,780万円	△ 2.2%
介護保険	63億 4,000万円	△ 1.0%
後期高齢者医療	11億 2,400万円	△ 4.3%

# 令和7年度 予算の概要



## 新しい宇佐市へ

骨格予算であった令和7年度当初予算に加え、6月議会において肉付け補正予算を編成しました。

私は、市民の皆さまの希望あふれる、笑顔あふれる「新しい宇佐市」のために、軸となる8つの施策を掲げました。それが「徹底したメディア戦略による観光振興」「産業が栄えるまち」「市政改革」「新しいまちづくり」「子育て・若者支援」「充実した医療・福祉」「安心・安全・住みやすいまち」「豊かな教育のまち」です。今回の予算編成は、その第一歩となります。

宇佐市を取り巻く現状は財政状況を含め、非常に厳しいものがありますが、私はこれらの施策を進め、希望と笑顔があふれるまちを生み育て、より良いかたちで次の世代へとつなげていくため、不転の決意で、市政運営に取り組んでまいります。

宇佐市長 後藤 竜也

### ■ 予算について

当初予算では、骨格予算として義務的経費や継続事業を基本として編成し、今回の肉付け補正予算は政策的経費として「子育て・若者支援」「市民生活の充実」「地域経済の発展」を主要施策と位置付け、戦略的な予算配分に努めるとともに、物価高対策として国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した各種事業予算を盛り込みました。

そして、今回の補正予算の編成にあたっては、宇佐市を改革するための第一歩を踏み出す予算として、市民が求める地域の課題に即した予算編成に努めたところです。

一方で、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費や物価高による物件費の増加が見込まれることから、持続可能な財政運営を堅持するため、自主財源としてふるさと納税のより一層の確保に努めるとともに、事業規模の見直しや重点的に実施すべき施策を選択しながら、健全財政の枠組みを維持していく必要があると考えています。

これらを踏まえた令和7年度の一般会計肉付け補正予算の規模は12億3,530万円で、骨格予算として編成した当初予算と合わせると332億8,930万円となり、前年度当初予算と比較して20億9,370万円、5.9%の減額となっています。

歳入については、社会資本整備総合交付金などの国庫支出金および県支出金をはじめ、過疎債など交付税措置の有利な地方債を最大限活用するとともに、財政調整基金、公共施設整備基金からの繰入金などにより、財源調整を図っています。

問合せ 行政経営課 財政係  
TEL 097-81008

## #03 地域経済発展

### ○ ふるさと応援基金事業 8億円

ふるさとと宇佐市を応援したいと考えている市外の市出身者など、趣旨の賛同者から「ふるさと応援寄附金」を募り、寄附者の思いを市の施策に反映するとともに、金額に応じて返礼品を送付する。



ふるさと納税は、地域活動にも活用されています。

### ○ おおいた園芸産地づくり支援事業 9,074万円

園芸品目の振興のため、産地の拡大に向けた生産基盤や生産施設、機械などの整備に対する支援を行うことで、新規就農者や参入企業などの多様な担い手の確保と生産所得の向上および経営の安定を図る。



### ○ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業 4,076万円

エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し各種支援を行う。

### ○ 宇佐神宮御鎮座 1300年奉祝行事等支援事業 1,970万円

宇佐神宮が御鎮座 1300年を迎えるタイミングに合わせて、各種イベントやキャンペーンなどの実施、二次交通対策、コンテンツ開発などを行うことで効果的な観光誘客につなげる。

#### 【その他の主要事業】

● 森林環境譲与税関連事業	7,582万円
● 「うさ暮らし」移住満足度100%事業	7,554万円
● 有害鳥獣捕獲・被害防止事業	7,287万円
● 観光戦略総合対策事業	4,827万円
● 大阪・関西万博相撲振興事業	300万円
● 第三次宇佐市総合計画策定事業	91万円

## #02 市民生活充実

### ○ 都市公園整備事業 2億1,784万円

レクリエーションやスポーツの場、災害時における活動拠点、隣接するごみ処理施設の余熱利用機能を一体的に備えた西大堀地区公園を整備する。

### ○ 道路メンテナンス事業 2億円

道路ストックの点検結果を踏まえ策定される長寿命化修繕計画に基づき、橋梁・トンネルの老朽化対策を実施する。



### ○ 予防事業（インフルエンザ、新型コロナウイルス、帯状疱疹） 1億68万円

高齢者に対して、予防接種法にて定期接種に位置付けられている各種ワクチンの接種を実施する。

### ○ 新たな公共交通体系構築事業 3,550万円

地域の交通需要に応じた新たな公共交通体系を構築するため、デマンド型交通の安心院地域での本格運行および院内地域での実証運行を行う。



#### 【その他の主要事業】

● 障害福祉サービス事業	19億3,728万円
● 宇佐・高田・国東広域事務組合負担金	16億9,500万円
● 不燃物処理場改修事業	3億9,602万円
● 社会資本整備総合交付金事業	1億88万円
● J R宇佐駅リニューアル事業	6,923万円
● 小・中学校防犯対策施設整備事業	5,789万円

## #01 子育て・若者支援

～ 子どもは地域の宝 ～

### ○ 保育所措置費 25億3,679万円

就学前の教育および保育の重要性を考慮し、総合的な少子化対策を推進する一環として、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図るため、保育所などの運営に必要な経費を扶助する。

#### 【市単独補助分】

- ・ 3歳未満第1子保育料無償化 … 6,323万円
- ・ 副食費補助 … 5,184万円



### ○ 放課後児童健全育成事業 2億2,444万円

昼間、保護者のいない家庭の児童に対し、適切な遊びや生活の場を与え、健全育成のため、児童クラブの運営を委託して行うとともに、低所得世帯などの負担金を減免することで保護者負担の軽減を図る。



### ○ 学校給食無償化事業 2億2,042万円

小・中学生の給食費を全額無償化することにより、子育て世帯への経済的支援の充実を図る。



### ○ 子ども医療費助成事業 2億1,416万円

子どもの医療費を助成することにより、子育て世帯への経済的支援の充実を図る。



### ○ 子育て応援祝金事業 6,583万円

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、入学祝金を支給する。

#### 【支給額】

- ・ 小学校、中学校、高校入学など … 1人5万円

#### 【その他の主要事業】

● 学校教育支援教員等配置事業	1億3,676万円
● 小中学校教育システム最適化事業	7,782万円
● 妊産婦乳幼児健康診査費助成事業	3,383万円
● 妊婦のための支援給付事業	2,459万円
● USA人材UIターン雇用拡大推進事業	1,408万円

